

仏教とお寺をやさしく解説

さんが

Saiganji Sainomiyako Memorial Park News

2024年9月
第58号
(年4回発行)

秋号

発行部数3千部



法然上人と親鸞聖人

シリーズ浄土宗／十夜会

実践教室／法事参列のマナー

お月見チャリティーコンサートのご案内

法然上人と親鸞聖人

「南無阿弥陀仏」というお念仏を信心とする浄土宗と浄土真宗。浄土宗の宗祖である法然上人は、鎌倉仏教の先駆者と言われています。法然上人の弟子であり後に浄土真宗の宗祖となる親鸞聖人は法然上人の四十歳下。二人はどのように出会ったのでしょうか。



浄土宗 宗祖法然上人

法然上人（1133～1212）

法然上人は、平安時代末期の長承二（1133）年に、美作国（現在の岡山県）で地方豪族の父のもとに生まれましたが、九歳の時に夜襲をうけ父を亡くし、その後仏門に入ります。十三歳から十五歳の頃、当時の最高学府であった比叡山延暦寺に入山、学問と修行に励み「知恵第一」と讃えられますが、どれだけ仏典をよみ、どれだけ伝統的修行に励もうとも万民救済の道を見つけることができませんでした。あるとき善導の著した「一心に阿弥陀仏の名をたたえ、念仏をとなれば極楽往生できる」とする専修念仏の思想にたどり着き四十三歳のときに山を下り、やがて、京都東山吉水に庵をかまえ浄土宗をひらきます。

この法然上人の教えは、のちの関白・九条兼実をはじめとする貴族から、武士や一般民衆にまで広まり、草庵には老若貴賤、男女を問わず多くの人々が集まりました。

親鸞聖人（1173～1262）

「たとえ法然上人にすかさされまいらせて念仏して地獄

に墮ちようとも、後悔することはない。」(※すかさされまいらせていただきませう)

こう言つて法然上人の門弟となつた親鸞聖人は、承安三(1173)年、京都郊外の日野荘に中級貴族の子として生まれました。九歳で出家した親鸞聖人は、比叡山に入山し二十年にわたる修行しましたが、やがて自力修行に限界を感じて山を下りることにします。自分の進むべき道を求め、聖徳太子にゆかりの深い京都の烏丸にある六角堂に百日間参籠することを決意します。

二人の出会いと別れ

親鸞聖人が六角堂で百日間の参籠に入つてから九十五日の明け方、救世観音から夢告を授かり、東山の吉水で本願念仏の教えを説いている法然上人のもとに向かいます。その日から百日間、あらゆる質問をぶつけるために通い続け、法然上人の説く専修念仏こそ自分が救われる道と確信します。親鸞



浄土真宗 宗祖親鸞聖人

聖人が二十九歳、法然上人は六十九歳のときでした。

法然上人の教えに感銘を受け弟子入りし、一路念仏の道に突き進む親鸞聖人でしたがその数年後、建永二(1207)年、専修念仏の停止の命令とともに、法然上人の門弟四人が死罪、師である法然上人と親鸞聖人を含む七人の門弟たちが流罪となり、法然上人は四国へ、親鸞聖人は越後(新潟)へ配流となつてしまいます。

流罪となつてから四年余り経つた建暦元(1211)年十一月、法然上人は京都に戻る事を許され、同じく親鸞聖人にも赦免の知らせが届きます。しかし、それからわずか二カ月後の建暦

二(1212)年一月、法然上人は逝去してしまい、親鸞聖人と法然上人の二人が再び会うことは叶いませんでした。

浄土宗と浄土真宗

法然上人の信望篤い弟子であつた親鸞聖人が、法然上人から受け継いだ「専修念仏」を独自の思想「本願他力」「自然法爾」に確立したのが浄土真宗です。「本願他力」は、法然上人の説く「ただ念仏すれば救われる」というものから、阿弥陀さまの救いは念仏する我々の力(自力)によるものではなく、あくまでも阿弥陀さまの願い(本願)によるもの。「自然法爾」もまた阿弥陀仏の誓願を意味します。

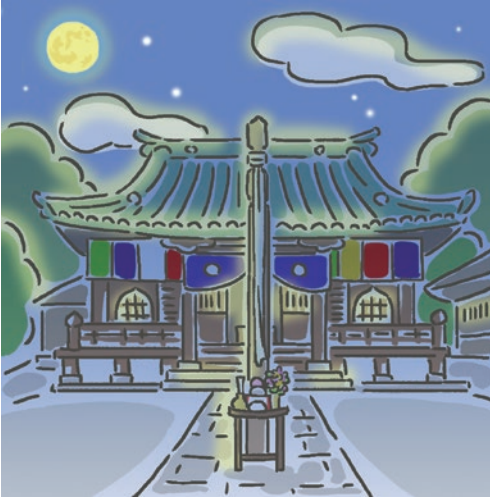
こうして、法然上人が築いた万人救済の思想は、弟子の親鸞聖人によって絶対他力の信心として展開していったのです。



十夜会

浄土宗の秋の法要としてあげられる十夜会。「お十夜」や「十夜法要」「十夜講」とも呼ばれますが、正式には「十日十夜法要」と言い、俳句などの季語としても知られています。

元来は、旧暦の10月5日から15日までの十日十夜の間、昼夜を問わずお念仏をとなえる法要でしたが、現在では、10月から11月にかけて数日間から1日と日数を短くして勤める寺院が多いようです。



お十夜のはじまり

お十夜の歴史は古く、室町時代(永享年間1429〜1440)にまでさかのぼります。室町時代の第六代將軍足利義教の執権・伊勢守平貞経の弟、貞国が世の儂さを感じて、仏道に生きようと京都の天台宗の真如堂に籠り十日十夜の念仏行を修したことがはじまりと言われています。

その後、明応四年(1495)に、浄土宗の大本山の一つ、鎌倉光明寺

の第九世・観音祐崇上人が、後土御門天皇に招かれ宮中で『阿弥陀経』の講義をされ、さらに真如堂の僧と一緒に引声念仏を修し、勅許を得て光明寺で「十夜法要」を行うようになりました。これが浄土宗でのお十夜の始まりです。

お十夜法要はどんな意味があるの？

十夜法要は、阿弥陀さまへの報恩感謝の法要です。

この法要は、浄土宗のよりどころとする經典である浄土三部経の一つ「無量寿経」の一節「この世において十日十夜の間善行を積むことは、仏の国で千年にわたり善行を修することよりも尊い」と説かれることによって、その教えを実践したものです。



法事参列のマナー



案内状が届いたら

法事の案内が届いたら、出来るだけ早くに出欠の返事を出し出席の場合は参加人数を知らせることも大切です。電話で返事をして返送用はがきは出しましょう。自分や家族が欠席する場合は一言添えましょう。

服装は

男性の場合、一般的には、法事の場合では「略礼服」が適しています。略礼服は、ダークネイビーやチャコールグレーの地味なスーツを指します。

女性の場合は、黒やグレー系の地味なスーツ、あるいはワンピースなどが適切です。アクセサリーについても男

性は光り物を避け、女性は輝きの強いアクセサリーを控えることに心を掛けましょう。

法事に参列する際の持ち物は

数珠や白又は黒のハンカチ、香典やお供え物など。家が仏教なのであれば、数珠は一つは持つておくべきでしょう。手を合わせる時に数珠をするのは作法です。参列者は香典やお供え物を持参します。香典は線香や抹茶などお供え物の代替品とされています。

参列してお焼香をする

仏式で行われる焼香の作法は、宗派によって異なります。しかし、法事によって異なる宗派と違う焼香をしたからといって失礼にあたるわけではありません。自分の属する宗派の作法で心を込めて焼香すればよいでしょう。

浄土宗では、焼香の回数にこだわりません。仏・法・僧の三宝に帰依するという意味をこめて三回、心を静め身を清めると考えれば二回、真心をこめて一心に行うならば一回でもよいでしょう。

暮らしの中の 仏教語

「冥利」 [みょうり]

男冥利、女冥利、役者冥利、この「〇〇冥利」という言葉、耳で聞いて音で覚えている言葉ですが実際に自分が使うことはあまりないのでは…？ しかし冥利という漢字を見ればなるほど！ これは仏教由来の言葉なのではと気がきます。

「〇〇冥利に尽きる」と表現する言葉は、ある立場や地位、職業において最高に幸せな気持ちを得た時に使いますが、仏教では「冥利利益」と言い、仏・菩薩によって知らず知らずの間に受ける利益や恩恵、また、善業の報いとして受ける利益のことをいいます。それが転じて、人がおのずと受ける利益になったのだとか…。



第15回 西願寺

十三夜お月見 チャリティーコンサートのご案内



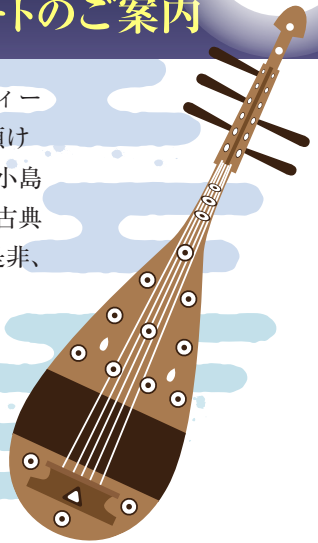
今年で、15回目を数える西願寺「十三夜お月見チャリティーコンサート」。今回は、月夜に筑前琵琶奏者の音色に耳を傾けるひと時です。琵琶奏者の益子旭秋さん、廣内旭鐵さん、小島旭玲さん、小柴旭扇さんを招き普段あまり聞く機会のない古典楽器の琵琶の演奏を間近で聴く事のできるチャンスです。是非、ご参加ください。


日時 令和6年10月18日(金) 18:00受付


場所 西願寺 本堂

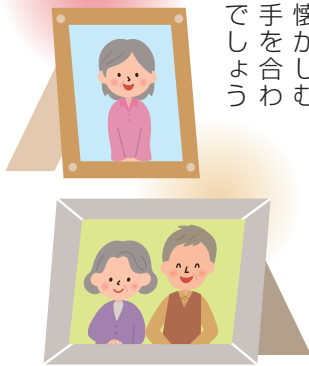
参加費 1,000円

※参加希望の方は、西願寺までお気軽にお問合せ
お申込みください。



 実家の仏壇には、亡くなった祖母の写真が飾ってあり帰省した時には、その前で手を合わせ可愛がってもらった子どもの顔を懐かしく思っていたのですが、先日、知人に仏壇に故人の写真飾ってはいけないのだと言われ何だか寂しく感じてしまいました。本当にそうなのでしょうか？

 お仏壇に写真を置いてお参りされたいと思われる方は多くいらっしゃいます。実際に写真の中の親しい方の顔を見ると心も和らぎますよね。しかし、正式にはお仏壇に写真は置きませぬ。一般に、お仏壇には、ご本尊を安置し、花瓶や口ウソク立て、香炉などの仏具、位牌などが飾られます。ただ、どうしても写真を見てお参りたい方は、お仏壇の前や横に置きご本尊をお参りすると共に懐かしむ気持ちをお胸に手を合わせてはいかがでしょうか？



西願寺 TEL. 048-925-1723 FAX. 048-925-1789
彩の都メモリアルパーク TEL. 048-921-4194

秋彼岸会 9月19日(木)～9月25日(水)

葬祭フェア開催のお知らせ

9月21日(土)・22日(日)

場所…彩の都 あすま会館

当日は、会場で祭壇等の展示と葬儀についてのご相談やご質問をお受け致します。お気軽に起こしてください。

彩の都メモリアルパーク 秋の合同彼岸会法要

日時 9月22日(日) 10:00～

場所 彩の都 あすま会館3階

彩の都メモリアルパークでは、上記日程で秋の彼岸会合同法要をお勤めします。是非、ご参列くださいますようお願い申し上げます。



永代供養墓 「華苑」「光明苑」

彩の都メモリアルパークでは、永代供養墓「華苑」、永代供養塔「光明苑」のご案内をしております。



永代供養墓「華苑」



永代供養墓「光明苑」

■お便り募集■

編集部では皆さまからのお便りを募集しております。仏事の疑問や悩みごと、身近なできごとや日頃感じていること、川柳など、どうぞお気軽にお寄せください。

◆イオ株式会社

西願寺・彩の都メモリアルパーク通信「さんが」編集部

東京都千代田区麹町二・十・三・一〇二

FAX 03 (62695) 1302 Mail: info@io-conet

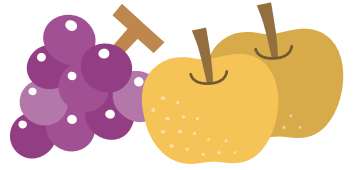
■次号予告

次号は令和六年十二月発行予定の「冬号」です。

お知らせ

家族の一員として可愛がってきたペットの埋葬についてのご相談も承っております。お気軽にお問合せください。





◆編集後記◆

旧暦の10月5日から10日間でお勤めされていた秋の浄土宗の伝統行事である「お十夜」は、俳句の世界では初冬の季語となっているのをご存知でしたか？「十夜」を含む、俳句も数多く、俳人、歌人として名高い正岡子規も「月影や 外は十夜の 人通り」と詠んでいます。

さて、季節は秋（さんが）が発行される頃はまだまだ夏の暑さが残る時期ですが……。お彼岸とともに西願寺の秋を彩るのはお月見コンサートですね。今年は、筑前琵琶の演奏なのだとか：大河ドラマでも主人公のまひろこと紫式部が琵琶を奏するシーンが幾度かあり、その独特の音色と雰囲気を引き込まれましたが、琵琶は他の楽器に比べて直接その音色を耳にする機会は少ないのではないのでしょうか？ 私の勝手なイメーajですが琵琶の音色は月夜にピッタリな気がします。今年の西願寺のお月見コンサート、私も行ってみたいくなりました。

発行者

遊馬山一行院 西願寺

〒三三四〇一〇〇三二 埼玉県草加市遊馬町四三〇番地

電話 〇四八一九二五一一七三

FAX 〇四八一九二五一一七八九

彩の都メモリアルパーク

〒三三四〇一〇〇三二 埼玉県草加市遊馬町二二六〇一九

電話 〇四八一九二二一一四一九四

FAX 〇四八一九二二一一四一九五

企画・編集・製作

西願寺 丹羽義昭住職

イオ株式会社 西願寺・彩の都メモリアルパーク通信

「さんが」編集部